

万九千社まぐせのやしろ 立虫神社たちむしじんじや
社報



神戸の郷

第八二号 令和四年神在月
「発行」十月吉日 代宮家よみや

(錦田)

今季の祭 その一

万九千さん

全国では神無月とよばれる旧暦十月を出雲地方では神在月と呼び慣わしています。

日本中の八百万神やおよろずのかみが出雲へ参集されると伝えられるからです。

私たちがお護りする万九千社では、神々が神議りの締めくくりと直会なほらひを催し、明朝早く、諸国へとお旅立ちなさると伝えてきました。

まもなく日本中の神様が、私たちの住まいするこの土地のお宮へとお越しになります。
皆様おそろいでお参り下さい。

一、龍神祭、
お忌み入り

十一月十日(木)

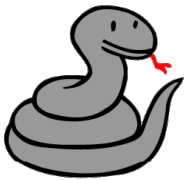
早朝

※旧暦の十月十七日

龍蛇りゅうじやさまを先導役とし八百万神を斐伊川でお迎えする祭です。

古くから、官司一人が人知れず行う秘儀とされ、夜明け前に斐伊川の水辺で行います。

水辺での神事が終わると、官司は神籬ひも(榊の木)に遷られた神々を万九千社へと御案内します。神迎えの祝詞を奏上し、当社はお忌み入りとなります。



一、神在祭
お忌みさん

十一月十日(木)
十一月十九日(土)

※旧暦の十月十七日～二十六日

日本中の八百万神さまは、十日間にわたり、当社に神集い、人々の縁結びや諸産業の繁栄など生きとし生けるものにとって大切な事柄について話し合いをなさるといいます。

毎日お供え物を献じ、天下泰平、五穀豊穰、日本と世界の平安と繁栄を祈念する祝詞を奏上します。

また、この期間に参拝者の願いに応じた特別祈禱を行います。

御神酒もこの期間に限りまして、からさで祭にちなんだ「からさでの梅酒」になります。

古来、神在祭のことを地元では「お忌みさん」と呼びました。「お忌み」

とは、神々の滞在や
会議を邪魔しないよ
うに、忌み慎んだ祭
事や生活をするこ
とを言います。



一、前夜祭

十一月十八日

(金)

※旧暦の十月二十五日

戸を閉ざした社殿内で宮司ほか数名が奉仕します。

明日の神等去出祭を前に、宮司ほかの奉仕者が神社に布団を持ち込んで一夜を過ごす、「お籠もり」の行事も行います。

これには、神々のおそばで忌み籠もることで、心身の清浄を極め、靈魂を鎮める意味があるとされます。

十一月十九日

(土) ※旧暦の十月二十六日

一、大祭

・午前九時

〜正午頃

特別祈禱、

神在みくじ等

・午後五時

湯立神楽

・午後六時

神殿祭

神等去出神事

万九千社にとっては、一年で最も重要な祭儀です。

平成二十九年からは、明治初期以来途絶えていた「湯立神楽」を復興しました。

この神楽は、神さまの旅立ちを前に神々と人々の前途、祭場・祭員・



参拝者にまつわる全てのモノ、コトを清々しく祓い清めるものです。
その後、神殿祭を行い、たくさんのお供え物をして会議の締め括りと直会（なおらい）をなさる全国の神さまを静かにおもてなします。
日没頃には、神々に明朝の旅立ちの時が近づいたことをお告げする神等去出神事を行い、今後も全国の人々の幸をお守りいただくべく御祈念します。この神事が「からさでさん」と呼ばれています。
宮司が社殿の御扉を梅の小枝で叩きながら、「お立ち、お立ち、お立ち」と三度唱えて神事を閉じます。

名物!

からさでそば

(釜揚げ)



大祭日の午前十時から、平成三十年に復活しました万九千さん名物、釜揚げの出雲そば：名付けて「からさでそば」のお店がでます。

出雲の老舗、玉木製麺、農業に励む出雲生姜屋、農家の糸賀充さんほかが出店予定です。

今季の祭 その二

十一月二十日(日)

午後三時より

一、あとまつり
一、立虫神社
新嘗祭

万九千社から神々が無事に旅立たれたことを寿ぐあとまつりに合わせ

まして、今年収穫されたお米をはじめとする新穀を万九千社と立虫神社の神々にお供えする新嘗祭を齋行します。

農業はもとより諸産業繁栄の感謝を申し上げ、人々の幸福と弥栄を祈念します。

※※お供え、お米当番の方は、午前八時～午後二時頃までに、神社参集殿へお供えのうえ御参拝下さい。

神在月

特別祈願

「神在みくじ」

十月二十五日

十一月二十日

※旧暦の十月一日～二十七日

当社に古来より伝わる稲作の出来高と吉凶を占う「お種組」の特殊神事に則って、神在月の出雲にお集まりの八百万神さまの御前で、祈願者お一人ずつの明年の幸福をお祈りす

ると共に、吉兆(縁結・仕事・学業・色・方角・文字など)を占います。詳しくは次頁または当社公式ホームページをご覧ください。



《あとがき》▼未だ疫神を封じ込めることはかたやありませんが、新型コロナウイルスとも共存の道を歩むしかありません。今年も残すところ二ヶ月程となりました。▼「万九千さん」の季節とともに、神立の地を全国各地からの神様とともに、多くの参拝客、観光客が来訪なさることでしょう▼どうぞ皆様の暖かいおもてなしの心で迎えただければ幸いです。▼寒風の中ご奉仕いただく深津一統、神社総代、全ての奉仕者の皆様、今年もありがとうございます。(文責 宮司 錦田剛志)

八百万神さまの御神前で
お一人ずつの明年の吉兆を占い
諸願成就をお祈りします

玉串料(授与料) 3,500円より

受付時にお気持ちでお納めください

ご祈念について

受付後に神前へご案内。特別昇殿、お祓いの後、玉串を奉ってご祈念いただきます。

特別授与品について

ご祈念の間に神職が神占いと特別祈願を行って 神矢と神在みくじ 御祈禱札 からさでの梅酒を授与します。

お守りの授与について

お帰りの際、授与所にてお守りを授与します。約20種のうちから、ご希望のもの 一体をお選びください。

お時間のない方へ

受付の際にお申し出ください。
当日にお守りと御神酒をお授けします。
後日の祈禱後に神矢と神在みくじ、
御祈禱札をお送りいたします。
送料500円を別途ご負担ください。

特別授与品

明年、吉兆の運じるべ
神矢と神在みくじ

※ 明年吉兆 諸願成就

神在みくじ

神在祭 特別祈願

限定1000体